

新人看護職員研修計画

1. 研修期間 ( 12 )か月

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	講義	演習	研修場所	時間数	研修内容
4	フィジカルアセスメントⅠ		○	部署外 (研修室)	2	バイタルサインの測定、呼吸音聴取および意識レベルの観察の方法・留意点を確認しながら、基本手技に沿った正確な観察技術を身につける
4	ボディメカニクス		○	部署外 (研修室)	3.5	ナーシング バイオメカニクスに基づく自立のための生活支援技術の習得
4	病院の理念 基本方針 職業倫理 個人情報保護	○		部署外 (研修室)	2.4	山口赤十字病院の組織、理念、基本方針 山口赤十字病院の役割 医療従事者に求められる職業倫理、基本的態度 個人情報保護について
4	看護管理 (看護部組織 理念 目標ほか)	○		部署外 (研修室)	1.8	山口赤十字病院の運営方針 看護部の理念、目標 チーム医療、サービス業としての医療 看護部の組織、機能
4	職員諸規定 福利厚生	○		部署外 (研修室)	1.7	山口赤十字病院の職員諸規定 福利厚生
4	継続教育	○		部署外 (研修室)	1.5	医療・看護を取り巻く環境と教育ニーズを知り、看護専門職としての継続教育の必要性を理解 赤十字キャリア開発プログラムを知り、自己のキャリア構想を描く
4	看護倫理Ⅰ	○		部署外 (研修室)	2	看護者としての基本的責務を理解し、具体的に行動化する為の自己の行動指針を作る
4	看護記録	○		部署外 (研修室)	2.5	看護記録に関する基礎知識を知り、適切な看護記録が記載する

4	赤十字概論 I 接遇	○		部署外 (翠山荘)	6.5	赤十字の歴史、国際的しくみと活動 日本赤十字社の災害救護事業 日本赤十字社の医療事業 日本赤十字社の血液事象 組織と仕事の進め方 社会人としての基本マナー
4	医療安全		○	部署外 (研修室)	1	医療安全の国の取り組み 医療安全とは 当院のインシデント・アクシデントについて インシデント・医療事故発生時の対応 安心・安全な医療の提供
4	最新の感染防 止の知識 感染防止の技 術	○	○	部署外 (研修室)	3	スタンダードプリコーションの考え方をベースに、感染防止 における基礎知識を学ぶ 臨床現場で実践できるため基本的な手洗いとPPE着脱手 技を習得する
4	スキンケア	○	○	部署外 (研修室)	2.5	看護をする上で知っておきたいスキンケアの知識を修得 する
4	看護事故防止 ①(起こしやすい看護事故と 防止)	○		部署外 (研修室)	2.5	医療事故防止の基本を復習し、ダブルチェックによる注 射・内服に関する投与のミスを予防する
4	オーラルケア 嚥下障害のある患者の食事 の援助	○	○	部署外 (研修室)	3.5	嚥下障害のある患者への援助方法について理解する 演習を通して、エビデンスに基づいた食事介助の方法を 考える。 口腔ケアの演習を通して、原理原則を踏まえた効果的な 援助の方法を考えるとともに、基本的な技術の復習の機 会とする
4	安全に注射を 行うための基 礎知識	○		部署外 (研修室)	3.5	静脈注射実施の法的解釈を理解するとともに、根拠に基 づいて安全・確実に注射を実施するための基礎的知識を 習得する
5	与薬の技術① 注射器の取り 扱い、採血		○	部署外 (研修室)	3.5	注射器を清潔・安全に留意しながら、基本に沿って正しく 使用する方法を身につける 採血に必要な知識を習得し、安全・安楽に留意したうえで 基本手技に沿った正確な採血技術を身につける
5	与薬の技術② 皮下・皮内・筋 肉注射		○	部署外 (研修室)	3.5	皮内注射、皮下注射、筋肉注射の正確な目的と方法を理 解し、注射部位の確認・基本手技などの方法を正確に身 につける
5	与薬の技術③ 翼状針を用い た点滴静脈注 射		○	部署外 (研修室)	3.5	点滴静脈内注射実施に必要な知識を確認しながら、基本 手技に沿った、翼状針を用いた点滴静脈注射の技術を身 につける
5	与薬の技術④ インサイトオ ートガードを用 いた点滴静脈注 射		○	部署外 (研修室)	3.5	インサイト・オートガード針を用いた点滴静脈内注射安全 に施行できる技術を身につける

6	看護事故防止②(注意を要する薬剤の知識・インスリンに関する知識)	○	○	部署外(研修室)	3.5	麻薬の取り扱い方法、輸血の取り扱い方法を理解する。インスリンの取り扱いについて、起こりやすい事故や事故防止の基本を理解する
9	フォローアップ研修	○		部署外(研修室)	2	就職し3カ月が経過した中で、新人同士の交流の場を持ち、互いの悩みや問題を共有することで、不安、悩み、身体面や精神面のことを吐き出す解決の糸口を見出す機会。 ストレスについて知り、ストレスマネジメントの基本を知る
8~11	ローテーション研修			他部署(自部署以外3部署)	93	日常生活援助技術やクリティカルケアに必要な看護技術の体験を通して、看護技術の体験項目を増やし、経験項目の偏りを補完する。他部署で経験した看護技術を自部署での看護に活かす。
9	看護必要度研修(基礎・実践編)	○		部署外(研修室)	3.5	重症度・看護必要度の基本的知識を修得する。 正しく評価できるための評価者テストをクリアできる。
9	フォローアップ研修	○	○	部署外(研修室)	2	臨床心理士より、ストレスについて説明を受け、リラクゼーションの方法を実技を通し、実践することでストレスマネジメントを行う
10	看護事故防止②(KYT)	○	○	部署外(研修室)	3	看護職が患者の安全を守る意味を理解し、個人として、組織としてリスクマネジメントの必要性を考える 新人看護職員として、リスクマネジメントとしてのコミュニケーションの在り方を理解する
10	救急蘇生(BLS)	○	○	部署外(研修室)	3.5	BLSの一連の流れ(意識・呼吸・循環サインの確認・心マッサージ・人工呼吸の方法)バックバブルマスクの使用方法について知り、演習を通して体験する
12	多重課題シミュレーション		○	部署内	2	多重課題の場面に遭遇した時、自分がどのように判断し、行動するのか、実演を体験し、看護判断力や報告・連絡・相談の重要性を理解する
2	フォローアップ研修(ナラティブ会)	○		部署外(研修室)	2	1年間を振り返り、自己の成長を客観的に捉え、2年目に向けての課題を考える
* 通年	部署内研修			部署内		* 部署毎の教育計画に沿った研修内容